

2017年度 第9回レフェリー塾のご案内

1. 目的： 関西協会および関西各府県協会所属の意欲ある審判員に対して、自主的な研修・研鑽の場を提供し、審判技術の向上、知識の充実、モチベーションの増強をはかる。
2. 参加資格： 関西協会および関西各府県協会 所属審判員 ならびに インストラクター
3. 日程： 2017年5月～2018年3月（8月を除く）、全10回 各月の第4木曜日 19:00～21:00
5/25, 6/22, 7/27, 9/28, 10/26, 11/23, 12/28, 1/25, 2/22, 3/22
4. 会場： (大阪市内・毎回参加者にメール等で通知)

第9回 2/22(木)の会場



大阪市立
中央区民センター

大阪市中央区久太郎町 1-2-27

☎ 06-6267-0201

地下鉄堺筋線・中央線 堺筋本町駅

3号出口東へ徒歩2分



5. 参加料： 通年2,000円 ※ユース審判員は1,000円
(初回参加時に徴収させていただきます)
6. 講師： (一社) 関西サッカー協会審判委員会
育成部長 大歳 和法 ほか 1級審判員、各級インストラクター、各界有識者など
7. 追加申込： 途中からの参加も可能。(参加料は通年と同じ)
8. 申し込み方法： 以下の各項目を明記の上、担当大歳まで事前申し込みをして下さい。
①氏名 ②所属府県 ③審判資格(級) ④メールアドレス ⑤携帯電話番号
追加申込・その他 レフェリー塾に関するお問い合わせ 担当;大歳 ohotshi@r3.dion.ne.jp

8回目(1月)はこんなことをしました テーマは「コミュニケーション ～きく～」

今回は、2人一組で「コミュニケーション」の実践をしていただきました。

「コミュニケーション」気持ち・意見などを、相手に伝えること。共有すること。

「伝えつつも」で伝わっていない、「わかつつも」で実はわかっていないということになってしまうのはどうしてか? 相手を理解する さらに 信頼し合える関係になるための コミュニケーションを目指して。

特に「きく」側にスポットをあててドリルをすすめました。スタートしてみると、職務質問をしているの? という人、聞き手の方がたくさんしゃべってたよね? という人、話し手が一方的に話し続けていた(話がどこに行くのかわからなくなってしまう) ペア、話の流れがぎくしゃくして盛り上がりませんというペア・・・。

途中で、「きく」には、「聞く」「聴く」「訊く」という文字があてられ、少しずつニュアンスが違うことなどをお話しました。「聴く」は、「傾聴」という言葉があるように、積極的(意識的)に耳を傾けてきくこと。傾聴のスキルと言われる、○相槌・うなずき ○オウム返し は多くの方がうまく使えているよということ。○沈黙 黙って聞く(ありのままを受け入れる、話し手の言葉が出てくるのを「待つ」ということができていない人が多いのではないかというチェックも入れました。「訊く」は、わからないことを尋ねる、興味のあることを質問するといった意味で、話の内容をさらに深く掘り下げるのに役立ちます。上手に「訊く」ことで話し手の思いを整理する手助けにもなることもお話しました。最後は、聞き手が聞き取った話を基に、再構築して整理してみんなに紹介するという課題にチャレンジしてもらいました。共感を得、信頼に繋がるコミュニケーションを様々な場面で実践していただくヒントになれば幸いです。